

河川整備先進地の 視察研修を行いました

茶郷川治水協議会では、今後の茶郷川改修に向けて知識や意識を高めるため、11月14日に参加者36名で南魚沼市の一級河川「十二沢川（じゅうにさわがわ）」の視察研修を行いました。

研修先では、新潟県南魚沼地域振興局地域整備部治水課より、十二沢川の治水史や改修事業の概要について説明を受けました。

十二沢川は、六日町市街地の約80%を集水域としています。しかし、下流の能力は梅雨時の集中豪雨や台風などの大雨には対応できないくらい小さいため、毎年のように氾濫し、浸水被害が発生しました。昭和56年、平成13年の豪雨では市街地の広範な浸水被害など大規模な浸水被害が発生しました。

河川改修事業は、平成15年から全体計画1、700m（魚野川合流点～関越自動車道）で採択され、川幅を6mから約10mに、深さを3mから約4mに広げるもので、平成23年度までに平手川下流までの改修を完了しました。

このように、地域の安全確保のため改修を進めてきたところ、平成23年7月新潟・福島豪雨により六日町市街地で、床上浸水295戸、床下浸水154戸、浸水面積35haとなる甚大な浸水被害が発生しました。

この対策として、「床上浸水対策特別緊急事業」により、平成24年度から平成28年度の5か年で、著しく流下能力が不足している国道17号から市道駅裏線まで約520mの河道拡幅を緊急的に実施しました。これにより、十二沢川の流下能力を増大させ、六日町市街地及び上流部の浸水被害を軽減する効果があります。



十二沢川の治水史などの説明を受ける参加者



国道17号橋梁施工現場の見学



JR橋梁施工現場の見学

環境整備部会（茶郷川環境整備協議会）の視察研修を行いました

茶郷川環境整備協議会は、毎年1回、県内外を訪れ、視察研修を行っています。

今年は、11月8日と9日に参加者8名で群馬県吾妻郡長野原町の「ハッ場ダム」を訪れました。「ハッ場ふるさと館」では、施工状況や現川である「吾妻川」の周辺環境に関する対策などを学ぶことができました。



ハッ場ふるさと館を見学



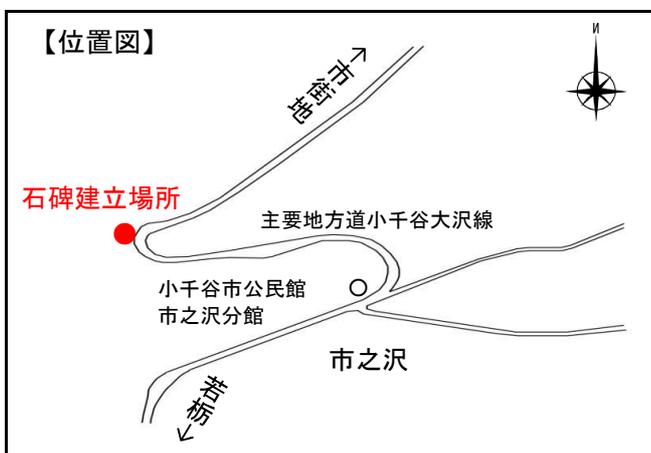
不動大橋から施工現場を見学

茶郷川の源流を示す石碑が建立されました

吉谷と市之沢の間の県道沿いに茶郷川の源流の場所を示す石碑が建立されました。11月29日には、石碑建立に関わった茶郷川環境整備協議会の主催により除幕式が行われました。

石碑は、新潟県長岡地域振興局地域整備部小千谷維持管理事務所の地域プロジェクト事業「市民に愛される茶郷川の源流表示整備事業」により建立されたもので、茶郷川環境整備協議会が日常的な清掃などを行います。

広報おちや12月25日号にも同様の記事が掲載されています。



■問い合わせ先

事務局 / 〒947-8501 小千谷市城内2-7-5 小千谷市建設課 (電話83-3514)